

大学生リマインダー 仕様書

グループ3 カニと愉快的な仲間たち

215710B 深村芽紅

215724B 高里優菜

215726J 神村琉恩

215746C 新垣樹

2022 年 7 月 19 日

目次

1	はじめに	2
1.1	目的	2
1.2	背景	2
1.3	期待される効果	2
2	要件定義	2
2.1	概要	2
2.2	利用者	2
2.3	機能要件	3
2.4	非機能要件	3
2.5	情報・データ	3
2.6	スケジュール	4
3	基本設計	4
3.1	機能設計	4
3.2	画面仕様	4
3.3	ファイル基本仕様	4
3.4	データベース基本仕様	4

1 はじめに

1.1 目的

本アプリケーションは、大学生の課題管理の効率化を目的として開発を行う。

1.2 背景

現在ネット上で公開されているリマインダーアプリは、個人・業務向けのものが多く、学生向けのリマインダーアプリが少ない。数少ない学生向けリマインダーアプリも有料機能の制限があり、大学生活で活用するのは難しいという問題がある。

1.3 期待される効果

学生向けのリマインダーを開発し、学生が利用することで、課題管理、スケジュール管理の効率化を図る。それにより、学生の計画性を高め、学習時間の増加や課外活動に取り組む時間の確保につなげる。

2 要件定義

2.1 概要

本アプリケーションには大きく5つの機能を実装する。

- 講義ごとの課題の管理機能
- 課題の提出日を視覚化するカレンダー機能
- 現在の出席状況を確認する出席確認機能
- テスト、課題の点数から見込み評価を算出する機能
- 課題締め切りの通知機能

2.2 利用者

大学生（学部生1年次～4年次）を想定。

2.3 機能要件

機能要件は以下の通りとする。

要件 NO	分類 1	分類 2	要件内容	重要度
1	共通	利用者	利用者は大学生（1年次～4年次）とする	高
2	共通	権限	利用者は、履修している講義情報の登録・編集・削除の権限が与えられる	高
3	共通	権限	利用者は、講義ごとに出される課題の追加、編集、削除の権限が与えられる	高
4	共通	利用環境	パソコン（MacOS）から操作可能であること	高
5	通知	通知機能	課題の締め切りが近くなったら PC 上で通知を行う	高
6	出席	出席記録	利用者は、講義時間内に出席の記録が可能	高
7	出席	出席記録	出席は講義時間内でしか記録できないものとする	高
8	保守機能	講義情報管理	過去に登録した講義情報を閲覧できるようにする	中
9	算出	見込み評価算出	テスト・課題の点数から見込み評価を算出できること	高

表 1 機能要件

2.4 非機能要件

非機能要件は以下の通りとする。

NO	分類	要件内容	重要度
1	性能・拡張性	アプリ利用者は PC 1 台につき 1 ユーザーとする	高
2	運用・保守性	アプリ稼働時間はユーザーがアプリ利用を終了するまでとする	高
3	開発	使用言語は Python とし VSCode を使用して開発を行う	高
4	開発	GUI 作成は kivy を使用して開発を行う	高
5	開発	データベースは SQLite を使用する	高
6	開発	バージョン管理は Git を使用する	高
7	開発	本アプリの開発手法は、ウォーターフォール型を基本として行う	高

表 2 非機能要件

2.5 情報・データ

データ構成は以下の通りとする

- 講義情報
 - － 講義名
 - － 講義時間
 - － 単位数
 - － 教室場所 or Zoom 接続先リンク
 - － 教授情報
 - * 教授名
 - * 教授連絡先
 - － 評価方法
 - * 課題評価比率
 - * 中間テスト評価比率

* 期末テスト評価比率

- 課題情報
 - － 課題名
 - － 重要度
 - － 締切日
 - － 取組み予定日
- 出席
 - － 出席数
 - － 遅刻数
 - － 欠席数

2.6 スケジュール

スケジュールは以下の通りとする。

- 7/15 要件定義、基本設計
- 7/22 詳細設計、画面レイアウト作成、講義登録機能作成、講義一覧機能作成
- 7/29 出席記録機能作成、課題カレンダー作成、通知機能作成
- 8/4 app 化、提出
- 8/5 プレゼン

3 基本設計

3.1 機能設計

3.1.1 履修講義情報管理機能

3.1.2 課題管理機能

3.1.3 課題視覚化機能

3.1.4 出席管理機能

3.1.5 課題締切通知機能

3.1.6 見込み評定算出機能

3.2 画面仕様

3.3 ファイル基本仕様

3.4 データベース基本仕様